

読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

瀬戸高（岡山市）の生徒が、東南アジアの孤児院へおもちゃを贈る活動をしています。記事を読み質問に答えましょう。

東南アジアの孤児院へおもちゃ

地域課題の解決策を。余ったおもちゃは現
考える「探求学習」の地のリサイクルショップ
一環で、昨年10月からへ売却され、収益金の一
取り組んでいるプロジ部が孤児院に寄付される
エクト。国連のSDGという。
s（持続可能な開発目 生徒は昨年12月、イオ
標）が掲げる「アーマンモール岡山（岡山市）
和と公正をすべての人におもちゃの回収ブス
に」に着目し、貧困にを設置。館内放送などで
あえぐ子どもたちを応援しよう企画した。 掛け、2日間でミニカー、
集まった玩具は、同 水鉄砲、ボール、ぬいぐ
様の活動に取り組み愛るみ、プラモデルなど多
知県小牧市の不用品回種多様な玩具が寄せられ
収業者を通じ、経済格た。
差が深刻なタイやフィ 寄付が想定以上に多
リピンの孤児院へ届け、業者への送料が約3

瀬戸高生5人

瀬戸高（岡山市東区瀬戸町光明谷）の2年生5
人が、家庭で不用になったおもちゃを東南アジア
の孤児院の子どもたちに贈る活動に取り組んでい
る。市内の商業施設で寄付を呼び掛けたところ、
約500点もの玩具が寄せられた。生徒たちは「1
人でも多くの子どもを笑顔にしたい」と発送準備
を進めている。（水野雅文）

子どもたちを笑顔に

た。送料は他の生徒や教
職員の募金で賄い、今月
30日に発送する。
リーダーの山本華愛さ
り3千円に膨らんだん16は「協力してくれ
が、見積もりをした福
山通運（福山市）が趣
旨に賛同して協力し、
半額の1万6500円 与えられたら」と話して
で送れることになっ
ている。

500点集め発送準備



おもちゃの状態を確認しながら箱詰めする生徒たち

5月24日付山陽新聞、岡山市民版

Q1

瀬戸高の生徒は、どのような方法でおもちゃを
集めましたか。第1段落を読み答えましょう。

Q2

回収を通じて、どんな種類のおもちゃが約何点
集まりましたか。

Q3

瀬戸高の生徒がこの活動を企
画したのはなぜですか。第2段
落の言葉を使って答えましょう。

過去の問題は
こちらから▶▶



◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。